

平成 23 年度練馬区協働事業提案制度（平成 24 年度事業実施分） の事業終了時評価・総合評価の方法等について（案）

1 事業終了時評価

(1) 評価者

実施団体および事業関係課

(2) 評価の時期

平成 25 年 4 月上旬～ 5 月上旬

(3) 評価方法

ア 協働事業の成果・効果に対する評価（実施団体と事業関係課が話し合っ

て評価）
事業の成果・効果を評価するため、「事業終了時評価シート【事業編】」（別紙 1）を作成する。

イ 協働事業の進め方に対する評価（実施団体と事業関係課が別々に評価）

協働のプロセスを評価するため、「事業終了時評価シート【進め方編】」（別紙 2）を作成する。

2 総合評価

(1) 評価者

区民協働推進会議

(2) 評価の時期

平成 25 年 5 月中～ 6 月上旬

(3) 評価の目的

各事業における「協働事業の成果・効果」および「協働の進め方」を第三者の立場で評価を行い、その結果を実施団体と区の双方にフィードバックすることで、それぞれの立場に応じた改善につなげるとともに、区の協働推進施策の改善につなげることを目的とする。

(4) 評価方法

ア 評価シートの送付

地域振興課は、実施団体および事業関係課が作成した別紙 1・2 の各評価シート等を、区民協働推進会議委員に送付する。（別紙 3「総合評価シート」も合わせて送付する。）

イ 公開事業報告会の開催

実施団体と事業関係課から公開の場で協働事業の成果・効果などについて、報告を受けるため公開事業報告会を開催する。（一般区民の傍聴あり）

公開事業報告会のプレゼンテーションは、1団体18分程度（入れ替え時間を含めて20分）とし、実施団体からの事業報告を7分、事業関係課からの報告3分、質疑応答を8分とする。質疑応答については、区民協働推進会議の委員と実施団体および事業関係課で行う。

ウ 各委員の評価

区民協働推進会議の委員は、「事業終了時評価シート」（別紙1・別紙2）およびプレゼンテーションをもとに、「総合評価シート」（別紙3）に基づき、委員ごとに評価を行う。

エ 区民協働推進会議での総合評価

プレゼンテーション終了後、非公開の場において、各委員からの評価結果をもとに、区民協働推進会議として総合評価（講評）をまとめる。

3 評価結果の公表

区は、「事業終了時評価シート【事業編】」および区民協働推進会議による総合評価の結果を区ホームページで公表する。

なお、「事業終了時評価シート【進め方編】」は、実施団体と事業関係課が共有し、今後の協働事業を進めるうえでの参考資料とする。

4 公開事業報告会の実施日程

(1) 実施時期

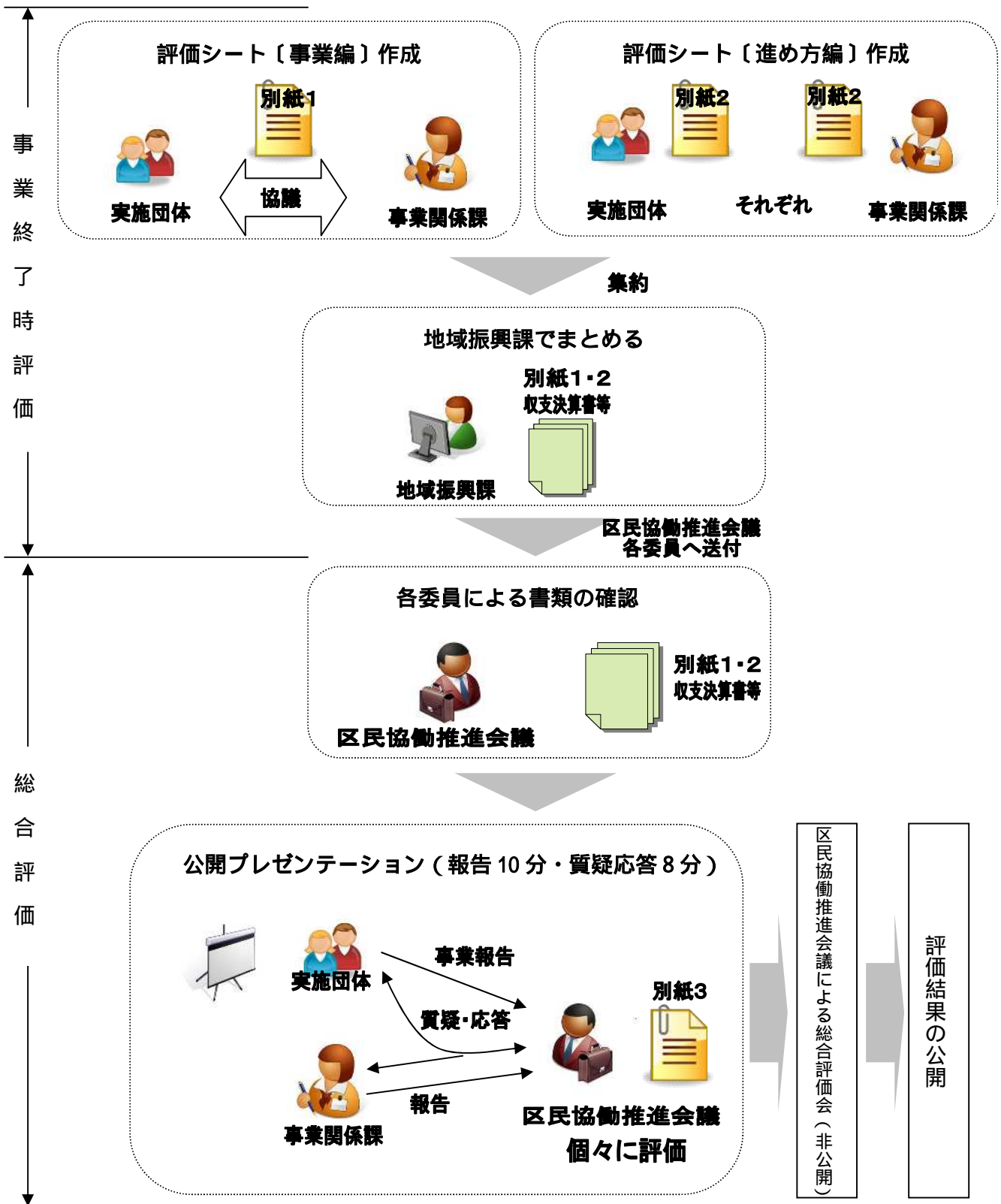
平成24年5月中旬～6月上旬

(2) 実施日時

ア 平日の夜間 … 例) 午後6時から午後9時まで

イ 休日の日中 … 例) 午前10時00分から午後1時00分まで

事業終了時評価・総合評価の進め方フロー図



実施団体と事業関係課が協議のうえ作成するシート

別紙1

協働事業終了時評価シート【事業編】

事業名	事業	
団体名	NPO法人	
事業関係課名	課	
事業の概要	(協定書に基づき地域振興課で予め記載)	
事業の目標		
役割分担	(団体の役割) 1 2 3 4	(区の役割) 1 2 3 4
事業の実績	事業の実績、アンケート結果など	
事業の目標は達成できたか		
協働により効果的・効率的に取り組むことができたか		
今後の展望		
その他		

実施団体と事業関係課が別々に作成するシート 別紙 2

協働事業終了時評価シート【進め方編】

1 事業名等

事業名	
作成者	

2 進め方の評価

できた... 5、ほぼできた... 4、なんとかできた... 3、あまりできなかった... 2、ほとんどできなかった... 1

1 事前協議	
ア 協定締結までの間に十分話し合いが行われましたか。	5・4・3・2・1
イ 協働事業の役割分担・責任分担を明確にすることができましたか。	
ウ 協働事業の役割分担・責任分担は納得できましたか。	
2 対等性	
話し合いの場で自由に発言することができましたか。	5・4・3・2・1
3 相互理解	
ア 協働相手の特性を理解することができましたか。	5・4・3・2・1
イ わかりやすい言葉で話し合いをすることができましたか。	
ウ 協働相手と十分コミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができたか。	
エ 相手の考え方を十分に理解し、不安や心配なく事業を進めることができたか。	
4 目的の共有	
協働事業の目的（目標と意義）を理解し、共有することができましたか。	5・4・3・2・1
5 情報公開	
協働事業の進捗状況や結果などを、ホームページなどで、広く周知できましたか。	5・4・3・2・1
6 当事者意識	
ア 事業の目的を達成するために、役割分担に応じて対応することができましたか	5・4・3・2・1
イ 事業の進捗状況など、事業にかかる情報を共有することができましたか。	
ウ 必要に応じて話し合いをすることができましたか。	
7 協働で取り組むことで、気づいたことはありますか。	
得られた効果（ <u>学んだこと</u> ）、気づいた課題（ <u>今後の課題</u> ）、協働相手に望むことなど	